

平成28年熊本地震による企業への影響

東北大学災害科学国際研究所 丸谷浩明、寅屋敷哲也

2016年5月19日（木）14:00現在

※ 4月16日本震の震度分布を表示

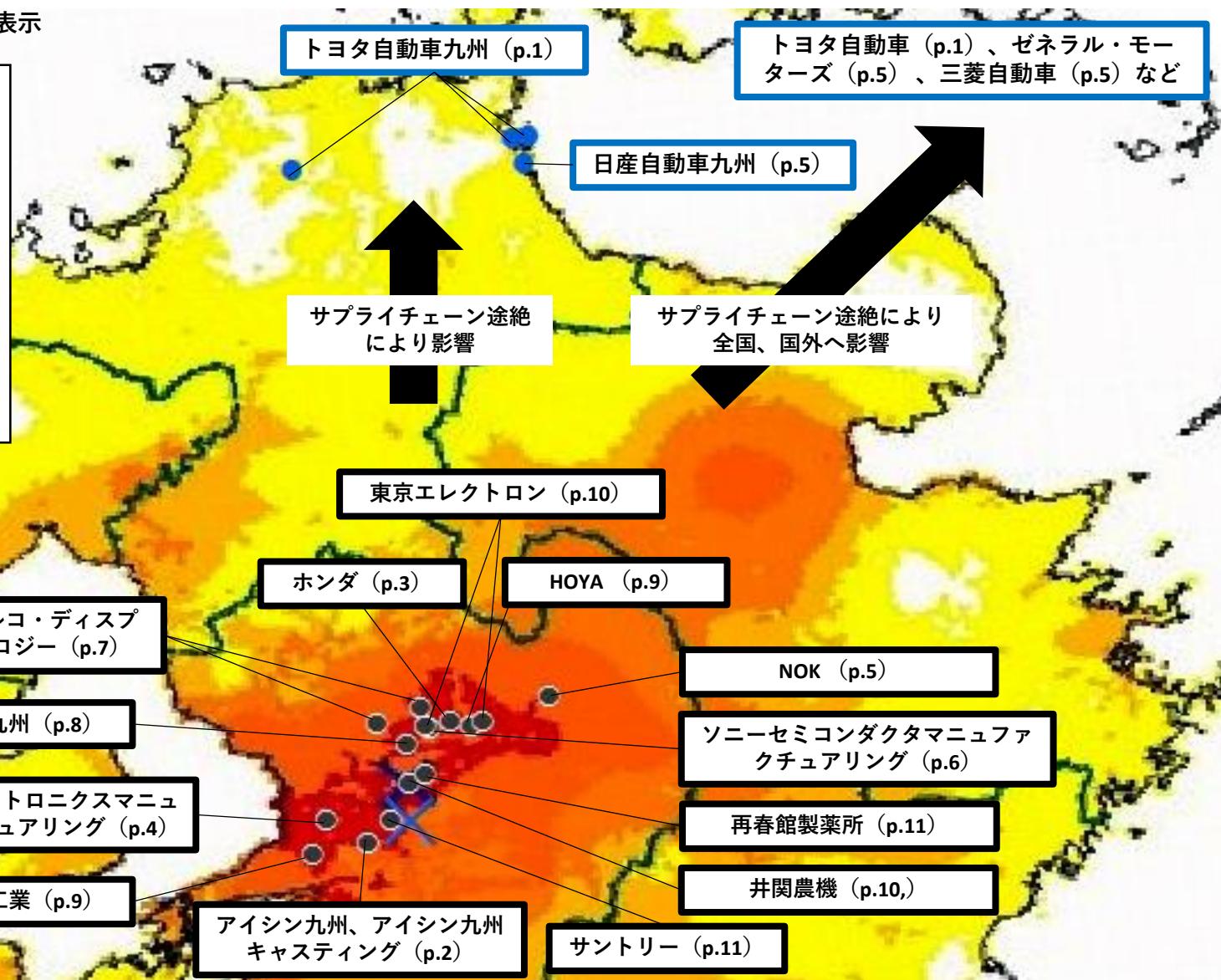
● 直接被災事業所

● 間接被災事業所

✗ 16日本震の震源

✗ 14日前震の震源

震度 4 5弱 5強 6弱 6強 7



平成28年熊本地震等による企業への影響について(企業HP・報道より)

東北大学災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野
 教授 丸谷 浩明・助教 寅屋敷 哲也
 2016年5月19日(木)14:00現在

・平成28年(2016年)熊本地震等による企業等への影響について、企業ホームページからの公表資料(出典:太字)や新聞記事・ニュース記事を引用し、「被害・影響」、「対応・今後の見通し」に分けて整理した。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
1	製造(自動車関係)	トヨタ自動車	熊本周辺(部品メーカー)	福岡県、愛知県、宮城県などの工場	トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(5月18日時点)」、5月18日		5月23日(月)～5月28日(土)の間も引き続き、全ての完成車組み立てラインを稼働させることといたしました。
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(5月11日時点)」、5月11日		5月16日(月)～5月21日(土)の間も引き続き、全ての完成車組み立てラインを稼働させることといたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月28日3:30		1日当たりの国内生産台数は約1万3000台と地震前の水準に戻る。供給が滞った部品を海外工場から機動的に調達するなど「これまでの備えが一定の機能を果たした」(トヨタ幹部)
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(4月27日時点)」4月27日		5月6日(金)～5月14日(土)の間、全ての完成車組み立てラインを稼働させることといたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月26日3:30		トヨタはアイシン精機からの部品供給を受け、25日に堤工場(愛知県豊田市)など完成車4拠点の5ラインを稼働した。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月20日3:30	被災地に近いトヨタ自動車九州(福岡県宮若市)などは <u>28日まで稼働休止の期間を延長する</u> 。	28日までに休止した26本のラインのうち18本を動かす。 <u>1日当たりの国内生産は地震前の約8割にあたる1万台規模まで回復する見通し</u> 。
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(4月20日時点)」、4月20日		4月18日(月)～4月23日(土)の間、国内における完成車組み立てラインの稼働を、段階的に停止することを公表しておりましたが、 <u>4月25日(月)以降、段階的に稼働を再開すること</u> といたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月18日3:30	福岡県の拠点が15日から生産を止めたのに続き、愛知県や宮城県などの工場も稼働を見合わせる。20～23日はトヨタ本体のすべての量産ラインを休止する。 <u>全体で5万台程度の生産が減る見通し</u> だ。	
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ」、4月17日	トヨタ自動車は、このたびの地震の影響による部品の供給状況等から、 <u>4月18日(月)～4月23日(土)の間、国内における完成車組み立てラインの稼働を、段階的に停止すること</u> といたしました。	
					日本経済新聞電子版 速報 企業 2016年4月15日 11:16(13:25更新)	自動車の組み立てなどを担う宮田工場(宮若市)の <u>生産を午前6時から停止</u> している。 <u>生産設備に被害はないものの、熊本周辺の部品メーカーからの供給が滞っているため</u> といふ。また同社は15日午後4時から、エンジンを生産する苅田工場(福岡県苅田町)、ハイブリッド車用部品を生産する小倉工場(北九州市小倉南区)についても稼働を停止する。同社の <u>全3工場が停止</u> することになる。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
2	製造(自動車関係)	アイシン精機	熊本県熊本市(2工場)		日本経済新聞電子版 速報 企業 2016年5月17日 15:19		アイシン精機は17日、熊本地震の影響で稼働を止めていた 熊本市内の工場で8月にも生産を再開する方針 を明らかにした。生産設備の復旧のメドが立ちつつあるため、九州の仕入れ先や愛知県の自社工場で代替生産しているドアの開閉を制御する部品などについて、 <u>生産をもとの工場に戻す</u> 。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第3報)」、4月28日		アイシン九州株式会社 ・工場内から生産設備、生産金型等を搬出し、愛知県内のアイシン精機とグループ会社の工場や九州地区の協力会社において、4月23日から段階的に代替生産を開始し、 <u>5月2日を目処にほぼ全ての品目の代替生産を開始する予定</u> 。 アイシン九州キャスティング株式会社 ・4月27日から段階的に生産を再開し、 <u>4月29日には、全工程で量産品の生産を再開する予定</u> 。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第2報)」、4月22日	アイシン九州株式会社 ・建屋内の生産用付帯設備(配線、配管など)に被害がでています ・AIK敷地内の変電設備に被害があり、AIKの建屋内に電気の供給が停止中 ・4月19日からクレーンを用い大型設備や生産型の搬出をしています アイシン九州キャスティング株式会社 ・建屋、設備などに大きな被害はでていません ・破損していた変電設備が4月20日に復旧し、電源が回復しました	震災発生後、当社から339名の応援者が、現地での復旧作業にあたっております。 アイシン九州株式会社 ・現地での生産復旧には時間がかかると判断し、代替生産を中心に進めています。 アイシン九州キャスティング株式会社 ・電源が回復したため、生産再開に向け準備を進めております。主に九州地区の協力会社や愛知県内のアイシン精機の工場での代替生産を開始しました。また、製品によってはすでに海外からの輸入により、対応を開始しました。
					日本経渷新聞 朝刊 2016年4月21日3:30		アイシン精機は20日、熊本地震の影響により生産が中断していた子会社アイシン九州(熊本市)の ドア部品を自社の中国やメキシコの拠点から調達する方針 を明らかにした。同子会社の 設備や金型は九州の他社の工場に運び込み、生産再開を目指す 。海外拠点の活用や他社との協力により、トヨタ自動車など取引先への供給能力を早期に回復したい考え。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第1報)」、4月17日	1. 熊本地方の関連子会社について ・アイシン九州株式会社(以下、AIK):熊本県熊本市南区 事業内容:ボディ部品、エンジン部品、半導体、液晶生産装置などの製造 ・アイシン九州キャスティング株式会社(以下、AIKC):熊本県熊本市南区 事業内容:アルミダイカスト製品の鋳造・加工 2. 被害状況について <従業員の安否について> AIK、AIKCの従業員について、4月17日11時時点で、無事を確認しています。 <事業活動の継続について> 4月14日21時26分頃の地震発生以降、 AIK、AIKCでは操業を停止 しております。地震発生後、安全を第一とし、AIKとAIKCの全従業員は建屋から避難を行いました。その後、度重なる余震の影響により、建屋内に立ち入っての被害状況の調査が難航しております。	3. 当社の対応について 震災発生後、被災地での人道支援を目的とした水・食料などの物資の搬送に加え、当社から71名(4/17時点)の応援者が現地での復旧活動にあたっています。 また、AIK、AIKCの操業停止に伴う対応として、現地での早期復旧とともに、 国内外での代替生産を開始 し、お客様への部品供給に全力で取り組んでおります。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
3 製造 (自動車関係)	ホンダ	熊本県大津町(熊本製作所)と熊本県宇城市(九州ショーワ)	熊本県大津町(熊本製作所)		日本経済新聞 朝刊 2016年4月29日3:30		ホンダ熊本製作所の建屋や製造設備には損傷が残っている。 <u>今回、再開を果たすが、規模はまだ小さい。</u> ギア部品の製造から始め、その後、二輪車などのラインを再稼働させていく。熊本製作所から部品を仕入れている八千代工業四日市製作所(三重県四日市市)は <u>1日の四輪車生産を170台から48台に減らしている</u> 。通常に戻るには半年かかる見通し。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による生産状況について」、4月28日		熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の生産を4月28日まで休止するが、 <u>5月6日より一部稼働を再開することを決定</u> 。熊本製作所の建屋および設備の一部は被害が大きく、 <u>復旧は8月中旬を見込む</u> 。なお、熊本製作所以外の生産拠点の状況については、軽自動車の委託生産先である八千代工業株式会社において4月22日より一部生産を縮小して稼働しており、 <u>通常稼働には半年程度を要する見込み</u> 。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月22日3:30		熊本製作所では1日あたり二輪車を750台、発電機などの汎用製品を200台生産している。 <u>現在は在庫分を出荷している</u> 。再開のめどは立っていない。軽自動車をホンダから受託生産する自動車部品メーカーの八千代工業は同製作所の操業停止を受け、四日市製作所(三重県四日市市)の一部生産を22日から縮小する。 <u>軽自動車向けエンジンを1日当たり170台生産しているが、22日から120台に減産する</u> 。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による生産状況について」、4月21日	熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の生産を4月22日まで休止する事としていたが、設備の被害状況などを鑑みて、 <u>4月28日まで生産休止を延長</u> することを決定。	熊本製作所以外の生産拠点の状況については、軽自動車の委託生産先である八千代工業株式会社において <u>4月22日より一部生産を縮小して稼働</u> し、その他の生産工場については通常稼働の予定。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による工場稼働について」、4月18日	熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の <u>生産を4月22日まで休止する</u> 。	
					日刊工業新聞電子版 2016年4月18日	周辺地域には部材のサプライヤーも多く、交通網寸断で調達が困難になる事態も想定される。ホンダに2輪用部品を納める九州ショーワ(熊本県宇城市)は焼結部品を生産しており15日から操業を停止。18日も操業しない。	人的被害はなかったが生産設備に影響があった模様で、「どれくらいの被害か調査中で結果が判明次第対策を検討する」(同社)。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月17日3:30		熊本製作所(熊本県大津町)が18日の生産休止を決めた。16日も余震が続いており、工場の被害状況を調べられない状況だという。
					TBS系(JNN) 4月15日(金)3次44分配信	熊本県大津町で主に2輪車を生産する熊本製作所の稼働を停止したと発表しました。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
4 製造 (自動車関係)	ルネサスエレクトロニクス	熊本県熊本市(工場)			ルネサスエレクトロニクス:「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第7報)」、5月10日		■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 現在、他工程の生産を段階的に再開していますが、 <u>5月22日に震災前の生産能力(生産着工ベース)に復帰させる目標</u> としました。
					ルネサスエレクトロニクス:「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第6報)」、4月20日		■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 生産再開の目途がつき、 <u>4月22日より一部工程において生産を再開すること</u> としました。 ■サプライチェーン全体での影響 <u>代替生産の検討も開始</u> し、サプライチェーン全体の早期復旧を目指します。
					ルネサスエレクトロニクス:「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第5報)」、4月19日		※内容略
					ルネサスエレクトロニクス:「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第4報)」、4月18日		■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 ・4月16日の本震を受けて再調査を開始していますが、 <u>昨日からクリーンルーム内の安全確認ができ、調査を開始することができました</u> 。
					ルネサスエレクトロニクス:「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第3報)」、4月17日	■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 ・従業員は16日の本震後、現在全員の安全を再確認しました。 ・設備の部品に一部破損があり、 <u>16日の本震による被害の拡大が確認されました</u> 。 ■サプライチェーン全体での影響 ・ <u>16日の本震により、一部の製造委託先において被害の拡大が確認されました</u> 。	
					ルネサスエレクトロニクス:「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第2報)」、4月16日	※内容略	
					ルネサスエレクトロニクス:「『熊本地震』による当社事業活動への影響について」、4月15日	■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 川尻工場(熊本県熊本市) 地震発生に伴い速やかに稼動を停止し、現在被災状況を確認中です。また、従業員は全員避難を完了しており、人的被害はありません。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
5	製造 (自動車関係)	NOK	熊本県阿蘇市(工場)	熊本県阿蘇市	NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ(第3報)」、4月28日	事業場周辺の道路が一部まだ復旧しておらず、従業員の通勤、物資の輸送に支障が出ております。	16日以降供給が滞っておりました電力等のインフラが復旧し始めたため、本日までにほぼ生産可能な状態となりました。
					NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ(第2報)」、4月18日	1. 被災地域に所在する拠点 拠点:熊本事業場、所在地:熊本県阿蘇市、 主要生産品目:Oリング 2. 人的被害について 18日の段階で当社従業員全員の安全確認が取れております。 3. 被災状況について 建屋や生産設備に大きな損傷はありません。しかし電力等のインフラが阿蘇地区を中心に供給が滞っており、当社事業場の稼働が停止しております。また事業場周辺をはじめ熊本県内で、道路が寸断されており従業員の通勤、物資の輸送に障害が出ております。今後の復旧につきましては建屋、設備の点検等、できる部分より復旧作業を進めており、通常稼働状態に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。	
					NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ」、4月18日	シール製品を生産しております当社熊本地震の工場等のインフラ、および周辺道路の寸断により稼働を停止しております。なお当社従業員に関しましては、本日の時点で全員の安否確認が取れております。現在当社危機管理室を中心に、工場の設備の点検等を行い、被害状況を確認しております。	
6	製造 (自動車関係)	ゼネラル・モーターズ(米)	熊本県内の部品工場	米テネシー州・カナダなど(4工場)	日本経済新聞 朝刊 2016年4月23日3:30	米ゼネラル・モーターズ(GM)は22日、熊本地震の影響で部品の供給が滞ったとして、米テネシー州やカナダなど北米4工場について25日から2週間、操業を停止すると発表した。	GMの広報担当者は日本経渃新聞社の取材に対し「どの会社のどの部品かはコメントできない」と話した。工場はこのほかオハイオ州とカンザス州にあり、「ビュイック」や「シボレー」ブランドなどの車をつくっている。同社は影響を受ける台数も明らかにしていないが、「北米での年間生産計画には影響を与えない」(広報)という。
7	製造 (自動車関係)	三菱自動車	熊本県内の部品工場	岡山県倉敷市	NHK NEWS WEB 4月19日22時40分	部品メーカーからの調達が滞るとして、岡山県倉敷市の工場で18日の夜間から20日まで軽自動車の生産を停止する。	
					日本経渃新聞 朝刊 2016年4月16日3:30	同社は水島製作所(岡山県倉敷市)で、18~19日の稼働を一部取りやめる。熊本県内の取引先工場が被災し、部品の調達が止まる見通しのためだ。	
8	製造 (自動車関係)	日産自動車	熊本県熊本市	福岡県苅田町	日刊工業新聞電子版 2016年4月20日		日産は日産自動車九州(福岡県苅田町)で18日から操業を再開した。現状はアイシン九州製部品の在庫を使うか、熊本地震による調達の影響が少ない車種だけを生産することで対応しているとみられる。
					日産自動車、「平成28年熊本地震の被害に対する支援について」、4月19日		日産自動車九州は、生産設備および部品供給の確認のため16日(土)の休日出勤を取りやめましたが、18日(月)より生産を再開しました。
					ニュースイッチ 2016年4月18日	16日も稼働を予定していたが、部品調達の影響で休止。	同社の子会社日産自動車九州(福岡県苅田町)は15日に平常通り稼働した。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
9	製造 (電機・電子機器関係)	ソニー	熊本県菊陽町(工場)	長崎県、 大分県の半導体工場	ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について(第4報)」、5月13日		・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社熊本テクノロジーセンター(熊本県菊池郡)は、高層階に位置する、 <u>後工程の一部である測定工程</u> については、 <u>5月9日より段階的に稼動を再開して</u> おり、 <u>組立工程など他の工程</u> については、 <u>5月17日より順次稼働を開始する見込み</u> です。 ・同テクノロジーセンターの低層階に位置する <u>ウェーハ工程</u> は、 <u>2016年5月21日より順次稼働を開始する見込み</u> です。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月29日3:30		<u>被害額は地震保険でカバーできる上限200億円を超える可能性</u> がある。
					ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について(第3報)」、4月28日		・建屋については、 <u>高層階を中心に損傷が確認されたため、補強工事を実施します。</u> ・同テクノロジーセンターの <u>低層階に位置するウェーハ工程</u> を設置したクリーンルーム及び生産装置については大きな損傷がないことが確認されたため、生産再開のための準備を開始しました。 <u>2016年5月末を目途に稼働開始する見込み</u> です。 ・同テクノロジーセンターの高層階において行われていた組立や測定などの後工程及びカメラモジュールなどの工程に関しては、クリーンルーム及び生産装置等の損傷が認められており、検証を進めています。 ・同テクノロジーセンターにおけるイメージセンサーなどの <u>完成品在庫</u> については <u>損傷は限定的であり、既に出荷を開始</u> しています。半製品、仕掛品の状況については、現在確認中です。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月28日3:30	ソニーのデジタルカメラ向け画像センサーなどを手がける熊本工場(熊本県菊陽町)は <u>生産再開のメドが立たない</u> 。	
					ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について」、4月18日	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 <u>熊本テクノロジーセンター</u> (熊本県菊池郡)は、主にデジタルカメラや監視カメラ向けのイメージセンサー及びディスプレイデバイスなどを生産しておりますが、 <u>地震発生直後より現在まで、生産活動は停止</u> しています。現在、建屋や生産装置の被害状況は確認中で、余震が続いていることもあり生産再開は未定です。	スマートフォン向けイメージセンサーの主力工場である同社 <u>長崎テクノロジーセンター</u> (長崎県諫早市)及び4月1日より自社工場として稼働開始した <u>大分テクノロジーセンター</u> (大分県大分市)につきましては、地震発生後、一部の生産装置が一時停止しておりましたが、 <u>4月17日より順次復旧し、生産を再開</u> しています。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月17日3:30	<u>菊陽町の半導体工場</u> は、カメラやスマートフォン(スマホ)に使われる画像センサーの主力工場で、 <u>14日の地震発生以降、操業を休止した</u> まだ。 <u>長崎県と大分県の半導体工場の一部ラインも16日から停止</u> した。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
10 製造 (電機・電子機器関係)	三菱電機	熊本県合志市、菊池市(2工場)			三菱電機:「『熊本地震』における当社半導体・デバイス関係 工場の状況について」、5月11日		○パワーデバイス製作所 [熊本] :ウエハ工程(合志地区) <u>5月9日より一部生産を再開いたしました。</u> 現状、大きな障害となる事象は発生していないことから、 <u>5月31日を目標に、震災前の生産能力へ回復させるべく取り組んでまいります。</u>
					三菱電機:「『熊本地震』における当社半導体・デバイス関係 工場の状況について」、5月2日		○パワーデバイス製作所 [熊本] :ウエハ工程(合志地区) 引き続き、 <u>5月9日に一部生産再開を目指して活動を展開しております。</u> ・クリーンルーム: <u>4月27日に復旧</u> し、現在稼働中です。 ・生産設備: 立ち上げ調整作業を継続しており、現時点で5月9日生産再開を阻害する要因は生じておりません。 ・その他: <u>一部工程については代替生産も実施</u> いたします。 ○液晶工場: メルコ・ディスプレイ・テクノロジー(株) (泗水地区) 引き続き、 <u>5月20日に一部生産再開を目指して活動を展開しております。</u> ・クリーンルーム: <u>4月27日に復旧</u> し、現在稼働中です。 ・生産設備: 立ち上げ調整作業を継続しており、現時点で5月20日生産再開を阻害する要因は生じておりません。 ・その他: <u>一部工程については代替生産も実施</u> いたします。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月28日3:30		三菱電機も27日、生産停止していた <u>液晶部品工場(熊本県菊池市)</u> を <u>5月20日に一部再開すると</u> 発表。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月22日3:30		三菱電機は21日、 <u>パワー半導体工場(同県合志市)</u> で <u>5月9日から一部生産を再開すると</u> 明らかにした。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月21日3:30	三菱電機のパワー半導体工場(熊本県合志市)も操業再開のめどが立たない。 <u>20日も工場施設は立ち入りが制限され、隣接する福利厚生施設を拠点に復旧活動を進めている</u> 。現状の把握に時間がかかっているもようで、同工場の関係者によると「調査担当者のみで対処している」という。	
					三菱電機:「『平成28年熊本地震』の影響に関するお知らせ」、4月16日	○パワーデバイス製作所[熊本] (熊本県合志市): <u>4月14日夜から操業を停止</u> しています。建屋の倒壊はありません。 ○液晶事業統括部[メルコ・ディスプレイ・テクノロジー(株)を含む] (熊本県菊池市): <u>14日夜から操業を停止</u> しています。建屋の倒壊はありません。	
					TBS系(JNN) 4月15日(金)3時44分配信	熊本県合志市にある半導体関連の工場と、菊池市にある液晶関連の合わせて <u>2つの工場の稼働を停止</u> しました。地震発生当時に工場で働いていた従業員は全員避難したということで、現在のところ、「建物や従業員への被害は確認されていない」ということです。	三菱電機は、工場の再開について、「製造装置の安全確認などを行ってから判断する」としています。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
11 製造 (電機・電子機器関係)	富士フィルム	熊本県菊陽町(子会社の工場)			富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第四報)」、5月2日		4月14日より停止していた生産設備は、 <u>4月23日より試運転を開始</u> 致しました。試運転は順調に進んでおり、 <u>一部設備では生産を再開</u> いたしました。引き続き準備の整ったものから、順次生産を再開してまいります。復旧作業が順調に推移すれば、 <u>5月中には地震発生前の生産水準に回復できる見込み</u> です。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月21日3:30		在庫品への影響は限定的で当面の供給には問題がないとしている。ただ完全な復旧に時間がかかる場合も想定し、 <u>静岡、神奈川両県の工場で同じ製品の生産を増やす準備</u> も進める。
					富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第三報)」、4月20日		電気などのインフラも徐々に回復し、再稼働に向けた準備を進めています。 <u>今週末には生産設備の試運転が開始できる見込み</u> となり、順次確認を進めてまいります。製品出荷については在庫品の確認を進め、 <u>一部確認の済んだものは昨日より出荷を再開</u> いたしました。
					富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第二報)」、4月18日	・富士フィルム九州株式会社(熊本県菊陽町)においては、地震発生後直ちに災害対策本部を設置し、情報の収集と対応、復旧対策をすすめています。 ・ <u>14日の地震発生後から生産を停止</u> し、再稼働に向けた設備等の詳細な確認作業を進めております。 ・製品出荷については、 <u>在庫や他工場での代替え生産</u> などで影響を最小限に抑えるべく検討を進めております ・交通網の混乱や継続する余震などにより、一部製品で納期遅れなどの影響も懸念されます。	
					富士フィルム:「『平成28年熊本地震』による当社への影響について」、4月15日	現在のところ当社および関連施設におきましては、建屋・設備・従業員などで大きな被害は確認されていません。	
					YOMIURI ONLINE 2016年4月15日3時27分	同社の子会社の工場では、14日午後10時現在、大きな破損は確認されていない。24時間稼働の生産ラインを止めて状況を確認している。この工場は、液晶テレビなどのディスプレーに使われる保護フィルムを製造しており、 <u>世界的に大きなシェア</u> (市場占有率)がある。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
12	製造 (電機・電子機器関係)	HOYA	熊本県大津町(工場)		日本経済新聞 朝刊 2016年4月19日3:30	液晶パネルなどに欠かせない回路原板(フォトマスク)を手掛けるHOYAの熊本工場(熊本県大津町)は16日未明の地震で火災が発生した。「 <u>操業停止が1ヶ月に及ぶ可能性がある</u> 」として、韓国や台湾の自社工場での代替生産の準備を進める。	
					HOYA:「平成28年熊本地震による影響について」、4月18日	・マスク事業部 熊本工場（液晶パネル製造用大型マスクおよび半導体製造用マスク製造） 建屋への影響は少ないものの、設備、装置等が被害を受けたため、 <u>15日より工場の操業を停止</u> しております。また <u>16日未明の本震後、工場内において火災が発生</u> しましたが、同日中に完全に鎮火しました。	営業活動等に及ぼす影響を最小限に抑えるため、 <u>一部の液晶パネル用大型マスクについては台湾、韓国の拠点へ、また半導体用マスクについては八王子工場への振替製造</u> を行ってまいります。
13	製造 (電機・電子機器関係)	日本合成化学工業	熊本県宇土市(工場)		日本合成化学:「『平成28年度熊本地震』に伴う損失見込み額の発生に関するお知らせ」、5月10日	生産設備の損傷等に伴う操業休止期間中の損失、原状回復費用、棚卸資産の廃棄等による <u>災害損失は約24億円を見込んで</u> おります。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第5報)」、4月28日		・「OPLフィルム」： 製品出荷を既に再開しています。 <u>生産は5月下旬より、順次開始する見通し</u> です。 ・「ゴーセノール」「ゴーセネットクス」： 製品出荷は5月から再開する見通しです。 <u>一部の製品の生産は5月下旬より順次開始する見通し</u> です。
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第4報)」、4月25日	4月25日からは関係業者による <u>設備・装置の損傷程度の確認と復旧日数の見積もりを実施</u> しています。	
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月23日3:30	(同社が生産している)偏光板用フィルムは世界でクラレと日合成だけが扱い、 <u>同社のシェアは3割</u> 。そのうち <u>熊本で7割を生産</u> する。操業停止が長引けば液晶パネルの生産に影響を及ぼす可能性もある。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第3報)」、4月21日	現在、当社熊本工場は操業を全面停止しております。 <u>4月20日より本格的な被害状況の確認作業を開始</u> しております。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(4月18日現在)」、4月18日	15日時点では熊本工場の建物および生産設備への大きな被害はありませんでしたが、 <u>16日の地震により大きな被害が発生</u> しています。 <被害を受けた拠点と生産品目> 日本合成化学工業株式会社 熊本工場(熊本県宇土市) 生産品目:ポリビニルアルコール「ゴーセノール」「ゴーセネットクス」「ニチゴーGポリマー」光学用フィルム「OPLフィルム」	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について」、4月15日	4月15日10時45分現在において、同地震による当社(熊本工場)および当社グループでの人的被害、建物の被害、生産設備への大きな被害はございません。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
14	製造 (電機・電子機器関係)	東京エレクトロン	熊本県合志市、大津町(工場)		東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月26日午後7時時点)」、4月26日		大津事業所につきましても、順次、安全確認および設備への影響の確認を行いますが、まずは生産に寄与する合志事業所の復旧を優先してすすめてまいります。合志事業所では、4月25日より工場の一部操業を再開しております。生産に関しては、現時点で 4週間程度の遅延影響 を見込んでおりますが、ゴールデンウィークを含む休日対応の生産シフトにより可能な限り遅れを取り戻し、 6月末までには通常の生産体制に戻す予定 です。
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月20日午後5時時点)」、4月20日		合志事業所の生産設備等の状況を踏まえ、 4月25日より段階的に生産再開が可能と見込んでおります。
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月18日午後5時時点)」、4月18日	主力工場である合志事業所につきましては、 建物の外観上、大きな損傷は見られません。	
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月17日3:30	同社は震源域に近い合志市と大津町に工場がある。14日の地震後、一旦操業を再開していたが、 16日未明の地震を受け再び生産ラインを止めた 。社員の人的被害や建物の構造への損傷は確認されていないが、 内部への立ち入りはできていない もよう。	
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(第一報)」4月14日～(第五報)4月16日	※ 内容略	
15	製造 (その他)	井関農機	熊本県益城町(製造所)		井関農機:「平成28年熊本地震に関する復旧状況のお知らせ(第3報)」、5月11日		井関熊本製造所の生産状況については、 5月16日より段階的に生産を再開 してまいります。具体的には、5月16日より部品加工を開始し、 5月23日には全面的な生産再開を予定 しております。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」、4月27日		1) 株式会社ヰセキ九州 被害箇所の修復作業を進めながら業務を再開しております。 2) 井関熊本製造所 現在は、生産を休止しており、 生産再開は5月中旬から順次再開を予定 しております。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」、4月20日		1) 株式会社ヰセキ九州 被害箇所の修復作業等を進めながらではありますが、 一部業務を再開 しております。 2) 株式会社井関熊本製造所について 現時点では、 生産再開には1ヶ月程度 要するものと見込んでおります。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」、4月18日	井関熊本製造所については、余震が継続する中で安全を確保しながら被害状況の確認を進めていること等から、 4月20日(水)まで休業 いたします。	
					井関農機:「平成28年熊本地震による被害状況について」、4月15日(12時00分現在)	・井関熊本製造所: 本日は臨時に操業を停止しております。建物の倒壊はありませんが、建物・製品・設備等に被災が見られます。 ・ヰセキ九州: 建物の倒壊はありませんが、建物・製品・設備等に被災が見られます。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
16 製造 (その他)	サントリー ホールディ ングス	熊本県嘉 島町(工 場)			サントリー:「平成28年熊本 地震に伴う九州エリアにお ける酒類の出荷再開につ いて」、5月13日	サントリー九州熊本工場では、 <u>一部設備に損壊等があり操業停止 が続いています</u> 。現在、工場施設・設備の点検調査を進めています。	九州エリアへの輸送手段が十分に確保できなくなり、同エリアにおいて、4月下旬から「金麦」シリーズ(缶)、「ザ・モルツ」(缶)などサントリービール(株)一部商品およびサントリースピリッツ(株)一部商品の出荷を見合わせていました。この度、同エリアへの輸送能力増強を図り、 <u>5月18日(水)</u> から出荷を再開します。
					サントリー:「平成28年熊本 地震に伴う九州エリアにお ける酒類の出荷につ いて」、4月22日	サントリー九州熊本工場および近隣の配送センターは、 <u>一部設備に 損壊があり操業停止が続いています</u> 。九州外から九州エリアへの輸送量の急激な増加により、配送手段が十分に確保できない事態となっているため、九州エリアにおいて <u>4月下旬から、一部商品の出 荷を一時的に見合わせざるを得ない</u> 状況となりました。現在九州熊本工場以外の3ビール工場では、増産体制を取っており、既に全国の需要に対する供給量を確保しています。	
					サントリー:「平成28年熊本 地震への義捐金の拠出と 救援物資の供出につ いて」、4月18日	ビール類、清涼飲料を製造しているサントリー九州熊本工場(熊本 県上益城郡嘉島町)は、現在、 <u>操業を停止</u> しています。	余震の影響もあり、操業再開までは、しばらく時間がかかる見込みです。このため、当社製品の供給においては、当面は出荷遅延等の影響が予想されますが、今後の安定供給を図るため、 <u>既に他工場 での増産体制に入っています</u> 。
					毎日新聞オンライン 経済 最新の経済ニュース 企業・ 産業 2016年4月16日23時 23分(最終更新4月16日23 時28分)	サントリーの九州熊本工場(嘉島町)でもビールや水、コーヒーなどの <u>生産がストップ中</u> 。卸売業者への <u>出荷停止や遅延</u> が起きている。	
17 製造 (その他)	再春館製薬 所				再春館製薬所Facebookよ り(4月27日)	再春館製薬所のつむぎ商館も、熊本地震により、機材等が倒れ、一部ですが壁や天井にも亀裂が入ってしまいました。	社員が安心して働くことができるよう、 <u>営業を一部のスペースで再 開</u> すると同時に、今もその横では、壊れたところを直しつつ、安全性を強化するための工事を続けています。
					再春館製薬所Facebookよ り(4月26日)		<u>ドモホルンリンクルの生産を開始しました</u> 。被災した工場の主要なラインが復旧し、ドモホルンリンクルの生産もスタートしております。ドモホルンリンクルをつくることができるのは、ここ再春館ヒルトップだけです。
				ニュースイッチ 2016年4月 17日15時45分更新【熊本 地震・企業動静】	17日もコールセンター社員の出社を引き続き停止した。通常であれば年中無休で運営している <u>通信販売の注文受け付けは、15日午 後から停止</u> した。交通状況の混乱などで商品の配送にも遅れが出ている。生産設備も損傷し工場も稼働を停止しており、再開の見通しは立っていない。		
					朝日新聞DIGITAL 2016年 4月15日14時56分	<u>生産設備の一部や製品を保管する棚が倒れるなどの被害</u> が出た。復旧に向けて作業を進めているが、現時点で再開時期は未定。地震発生時は工場は稼働を終えており、従業員にけがはなかったとい う。(午後2時現在)	